



3学期始業式にて



しめ縄



門松



玄関にて

フラワークラブ
の生け花と門松

新年明けましておめでとうございます。1月7日（金）3学期始業式を迎えました。新年を迎えるにあたり、地域の方からしめ縄飾りをいただきました。玄関に飾らせていただきました。ありがとうございました。船穂公民館で12月25日に行われた講座に小林教頭先生が進んで参加し、素敵な門松を作り、玄関先で本校の生徒を迎えました。

それでは、3学期始業式に話をした内容を紹介します。

明けましておめでとうございます。令和4年、2022年、3学期のスタートです。最初に、12月に船穂公民館や懇談前後で掲示していた人権標語やポスターに対し、本校あてに図書カードを船穂中学校区人権教育推進協議会からいただいたので紹介します。

次に、2学期の終業式にも触れましたが、「1年の計は元旦にあり」と言われます。昨年も触れたように、年の初めに目当てを決めて取り組むことが大事であるということです。生徒の皆さん、1年の始まりにあたっての目当ては決まりましたか。皆さんのその思いや願いを一つでも多く実現させる1年であって欲しいと思います。さて、私は、冬休みにある大型商業施設で催されていた門松づくりに参加してきました。できた作品が左の写真です。いつもであれば、子どもが楽しそうに作ってくれるのですが、「今年はアルバイトだから作れない」とダメ出しを受けたので、当日の朝、参加して作成しました。やり方は単純で、竹以外の差す商品を選び、次に、用紙に書かれている指示に従って、差していくというものでした。今までは、子どもが作るのを見て感想を言うだけでしたので、自分で行うと思ったより大変でした。差し方や位置、バランスなど思っていた以上に悩み、意外に時間もかかりました。作業中には、担当者から、門松の由来や備え始める日を教えてもらうこともでき、満足感を得ることができました。アインシュタイン150の言葉という本には、「何かを学ぶためには、自分で体験する以上にいい方法はない」ということが書いてあります。私も改めて実感しましたが、1回やってみるかどうかで経験値は確実に変わります。

皆さんも、良いと思ったことは、私のように小さなチャレンジからでも構いません。自ら進んでトライして学びに変えてください。

玉島警察署で表彰式



3年B組の矢部菜々美さんが、「第60回中国防犯連合会連絡協議会中学生防犯作文コンクール 優秀賞」を受け、玉島警察署にてその表彰式が令和3年12月23日（木）に行われました。その後、玉島警察署や玉島ケーブルテレビの担当者から防犯作文に書かれていた内容をぜひ、市民にも届けてほしいという熱い要望がありました。突然ではありましたが、その思いを受け止め、その場で防犯作文をしっかりと読み、訴えかけていく姿は素晴らしいものでした。